

新製品商品力評価・ヒット予報

ネット上の売買の損害を補償するサービス「セーフティ」

〔ヒット予報〕



50%

サードウェーブ

03 - 3836 - 6514

〔商品力評価〕

- 新規性 A・**Ⓐ**・C・D・E
- 使い勝手 A・**Ⓐ**・C・D・E
- マーケティング **Ⓐ**・B・C・D・E
- 総合評価 A・**Ⓐ**・C・D・E

〔評価委員会の視点〕

運営に不安残る
 商品の価格はこれまで生産者、流通サイドが握っていたが、インターネットのオークションなら消費者が自由に決められる。いながらにして、リアルタイムで割安なショッピングができるのが人気の理由だ。反面、相手がよくわからない個人間の取引ではリスクが大きい。わずかな利用料でこうしたリスクを回避できるのなら、利用者増につながりそうだ。ただ、損害の認定、確認作業は結構、手間暇がかかる。こうした損害保険のようなシステムを中小の業者がてがける場合、運営面の心配は残る。



〔概要〕

買い手は落札額の2%で

インターネット上のオークションサイトの「マイ・トレード」で、売買に際する損害を補償するサービス。買い手が落札額の2%を利用手数料として支払うと、損害を受けた場合に代金の全額と送料・振込料などが戻ってくる仕組み。売り手の手数料は同5%。インターネットでは最近、個人間も含めオークション形式の商品売買が急増しているが、利用者には「商品がきちんと届くのか」「代金は約束通り支払われるのか」などの不安があり、普及のネックになっていた。補償制度により、これまでオンライン・オークションの利用を渋っていた層の参加も見込めるようになる。

〔企業からの回答〕

豊富なノウハウ生かして活性化
 「マイ・トレード」ではパソコンや家電、ブランド品から車まで、幅広い商品を取り扱っている。出品料が1品につき100円と安いという、代金支払い、商品発送をサイト側で確認する仲介サービスもある。また落札者が、その商品にどの程度満足したかで提供者をランク付けする「信用度評価制度」も好評だ。会員数は2万1000人と、国内最大規模まで増え、取引総額も最近では月間約1億円。「セーフティ」が加われば、取引はさらに活性化する。サイト運営にはさまざまなノウハウが蓄積されており、損害補償制度も問題なく展開できるはずだ。

日本経済新聞の新製品情報欄「視点・採点」欄の基礎
 日本経済新聞で毎週日曜日付けの新製品情報欄「視点・採点」欄を日経産業消費研究所が担当しています。同欄は消費者の視点で注目新製品を採点しておりますが、日経テクノフロンティアの新製品評価がその基礎となっています。